「国盗り合戦」も開催 はっぽう〝んめもの〟まつり

10月10日、八峰町の山や海の幸を味わってもらおうと「はっぽう〝んめもの〟まつり」が道の駅「みねはま」の駐車場で開催されました。

会場では、地元産の魚介類や農作物がズラリと並べられたほか、地元の食材を使った「はっぽう鍋」や新米のきりたんぽをあんこ・ゴマ・ずんだ、みそ・しょうゆ・しお・コチュジャン・カレーの8種類の味で楽しめる「八峰八色たんぽ」などで秋の味覚を満喫していました。

また、観光振興の連携として深浦町と鰺ヶ沢町の観光協会も出店したほか、観光上の県境を懸けた「国盗り合戦」も行われました。

この合戦は綱引きではなく、幅8メートル、長さ5メートルの漁網の両端にゴムホースで作った取っ手を付けたもので、秋田・青森両チーム各8人で引っ張り合い、秋田が勝てば十二湖まで、青森が勝てば道の駅はちもり(お殿水)まで観光上のPRスペースを占領できるというものです。この日は5本勝負を行い、2勝3敗で秋田がホーム戦を負け越してしまいましたが、来場者も飛び入り参加し会場を沸かせました。

翌週17日には、深浦町の「チャンチャンまつり」で5本勝負が行われ、3勝2敗で秋田が勝利しました。通算成績が5勝5敗と並んだため、延長戦を行った結果、5勝6敗と秋田が惜敗。今後一年間、勝者の青森(深浦町)が道の駅はちもりを観光PRのスペースとして占領します。

来年も負けてしまえば、岩館駅まで占領されてしまう。力自慢の方々、ぜひ来年の参加をお願いします。

いざ合戦！惜しくも敗戦、来年に期待！

多彩な味覚を楽しみました

日頃の学習成果を発揮 「各小学校で学習発表会」

このほど町内3小学校で学習発表会が行われ、児童たちは劇や合唱などを披露しました。

塙川小学校では10月11日、同校の体育館で行われ、1・2年生は童話おむすびころりんの劇を、3・4年生は鐘馗様の由来をニュースリポート風にした劇を、5・6年生は世界の挨拶言葉を紹介する劇を披露したほか、全校児童による合唱や児童らによる石川の奴踊り・駒踊りも披露しました。

会場には来賓や父兄のほか、ことぶき大学の学生も詰めかけ、児童たちの元気いっぱい披露する姿に大きな拍手を送っていました。

元気いっぱいがんばりました

八峰町中学校合同音楽鑑賞教室 野田純子さんオータムコンサート

10月13日、峰浜中学校体育館で長野県を拠点に音楽活動をしているシンガーソングライターの野田純子さんによるオリジナルライブが開催されました。

野田さんは、人間愛や自然環境、平和をテーマにした楽曲を作成しており、この日は峰浜中学校の生徒のほか、八森中学校の生徒や地域住民に、組曲「失われゆく自然～勇者の住む森～」と題して、アンコールを含む全12曲を披露してくださいました。

信州の子どもたちために作った曲、「jump up your filling」では、会場の中学生と一緒に歌ったり、手拍子をしたりと素晴らしいライブを演出してくださいました。

澄んだ歌声が印象的でした

八森中生徒が八峰町特産品を秋田市のアゴラ広場でアピール

10月15日、JR秋田駅近くのアゴラ広場で八峰町特産品まつりが開催され、八森中の2年生が地域の特産品をアピールしました。

これは同校2年生が取り組んでいる「未来へ広げよう、ふるさと八峰町の魅力。」の一環として行われたものです。この日は、ハタハタずしや豆腐のおからを使ったドーナッツ、白神こだま酵母を使ったパン、木工品、峰浜梨、海産物加工品などわが町の自信作である特産品を販売しました。

生徒たちは元気な声で特産品をPRし、明るく丁寧な接客に努めていました。

ふるさとの特産品をPR

八森地区3子ども園合同「子どもブリコまつり」

10月21日、八森地区の3子ども園合同で「子どもブリコまつり」が開催され、会場の観海子ども園の大ホールでは自分たちで作った露店が出店され、園児たちはこの日のために一生懸命準備しました。

園児による元気太鼓の演奏でお祭りが始まると「いか焼き屋」や「つりぼり屋」、「くじ引き屋」などへ一斉に駆け寄っていきました。

フィナーレは「みこしの滝浴び」を再現。「わっしょい、わっしょい。」と元気いっぱい担ぎ、地域の伝統行事を体験していました。

いらっしゃい、いらっしゃい！売れ行きは上々

いろんなことを学びました 三世代「交通安全体験型講習会」

10月21日、ファガス駐車場で三世代「交通安全体験型講習会」が行われました。

この講習会は、㈳秋田県トラック協会能代山本支部(支部長針金吉勝)が交通安全事業の一環として開催したもので、町内3小学校の1・2年生や老人クラブ、一般の方々が参加しました。

小学生たちは、トラックの「死角体験」や「内輪差確認」に、「トラックから友達がぜんぜん見えなかった。もし友達がそこで遊んでいたら、ひかれると思った。」、「後ろのタイヤがだんだん近くにくるのが分かった。」などいろんなことを学んでいました。

トラックの死角はどこかな？

山形交響楽団来町 「本物の舞台芸術体験事業」

10月27日、峰浜中学校体育館で山形交響楽団によるオーケストラ公演が行われました。

この公演は、子供たちに優れた舞台芸術に触れる機会を提供する文化庁の「本物の舞台芸術体験事業」で、峰中生のほか、塙川小・水沢小の児童や地域住民もプロも演奏を鑑賞しました。

また、公演の中では、楽器の紹介やその音色を聞かせたり、代表の児童・生徒が指揮棒を握り実際にオーケストラを指揮する体験、峰中吹奏楽部員との合同演奏、オーケストラに合わせての合唱など会場が一体となって音楽を楽しんでいました。

プロ・オーケストラとの合唱。貴重な体験です